

こらいと石田職員自己評価表集計結果 R2年度

1：よくできている 2：できている 3：努力が必要

9月実施

●1：保育の理念・保育観

		1	2	3	コメント
Q1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	33%	66%		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針の内容を保育の基準として職員で共通認識、共通理解できるように、読み合わせや研修を行っています。 ・ 園でお預かりする一人ひとりのお子様を大切に保育していけるよう努めてまいります。
Q2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保証することが保育所の重要な使命だと理解していますか。	22%	77%		
Q3	あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考える時のガイドラインとしていますか。	11%	55%	33%	
Q4	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う、きわめて大きな役割を担っていると認識していますか。	22%	77%		
Q5	今日の保育園には、入園している子供の保育だけでなく、広く地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。	11%	88%		

●2：保育の内容

1) 保育計画・指導計画

Q1	あなたは、指導計画を作成する時「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか。	11%	33%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針の読み合わせや研修を通して、内容の理解を深め、指導計画の作成や保育実践に活かしていきます。 ・ 園児の経験や体験がより豊かになるような保育計画を充実させていきます。
Q2	あなたは、保育所の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。	11%	44%	22%	
Q3	保育には、指導計画（年・月・週・日案）の作成というあらかじめ見通しを持った計画性が必要だと思いますか。	22%	66%		
Q4	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解したうえで、月・週・日案などを立てていますか。	22%	55%		
Q5	あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。	11%	55%	11%	

2) 乳児保育

Q1	あなたは一人ひとりの子供の出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。	11%	11%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や、保育実践のPDCAを意識した取り組み等を通して子どもの発達についての理解、知識を深めます。 ・個々の発達状況に合わせ、より丁寧な保育が提供できるよう努めてまいります。
Q2	離乳食は、家庭と連携を取りながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合わせよう工夫していますか。		55%	11%	
Q3	おむつ交換は「気持ちいいね」などと優しく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。		66%		
Q4	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしくかえていますか。		66%		
Q5	あなたがどんな状態にあるときにでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。	44%	22%		

3) 3歳未満児保育（1.2歳児保育）

Q1	「できない、やって！」と甘えてくる時は、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人一人の発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	44%	55%		<ul style="list-style-type: none"> ・研修や保育実践のPDCAを意識した取り組み等を通して子どもの発達の理解、知識を深めます。 ・個々の発達状況に応じた丁寧な対応ができるよう努めてまいります。
Q2	あなたは子供の「これなーに？」「どうして？」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度答えようとしていますか。	11%	88%		
Q3	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉かけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	33%	66%		
Q4	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気ですごせることを第一に考えていますか。	33%	66%		
Q5	子供がおもちゃの取合いなどでぶつかり合う時、危険のないよう配慮しつつ子供の発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守る事ができますか。	22%	77%		

4) 行事

Q1	あなたは、園が従来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に取り込んでいますか。	11%	44%	22%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育を大切にしながらも、行事を企画することで日本の豊かな四季や伝統文化に触れる機会をつくれます。 ・日常の保育との繋がりを大切にしながら行事の特別感を楽しみ、節目節目の成長を喜びあえる機会にしていきたいと考えております。
Q2	「行事」を保育に取り入れるときには、それが子供の健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。	22%	66%		
Q3	保護者が参観する「行事」の時には、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子供のありのままを見てもらう気持ちのゆとりを持っていますか。		44%	33%	
Q4	「行事」に参加することを嫌がる子供には、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場を用意していますか。	11%	66%	11%	
Q5	あなたは「行事」が、子供の生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。	22%	66%		

5) 延長保育

Q1	長時間にわたる保育を受ける子供には特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気に配慮していますか。	22%	55%		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに寄り添いながらゆったりと過ごし、安心して保護者のお迎えを待てるように心がけます。
Q2	次々にお迎えがくる中で「ママ来ないね」のつぶやきに対して、その子の気持ちを受け止めて安定した気持ちで待つことが出来るよう、適切な対応をしていますか。	33%	55%		
Q3	あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配慮していますか。	22%	66%		
Q4	延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子供同士で遊べるような工夫をしていますか。	22%	55%	11%	

●3：保健活動・安全管理

Q1	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常状态的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。	44%	55%		<ul style="list-style-type: none"> ・園児の体調変化には常に留意するようにし、朝や昼の申し送りを通して職員同士で連携を図っています。 ・園施設安全チェック表を作成し、毎日点検をして安全管理に努めております。
Q2	あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。	33%	66%		
Q3	あなたは、睡眠中の子供の顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。	55%	44%		
Q4	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか。	33%	44%	22%	
Q5	そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」や、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。	44%	44%	11%	

●4：保護者・地域社会・関係機関との連携

Q1	園での様子を伝え家庭での様子を聞かなかで、子供の育ちを保護者とともに、考え、喜び合うことが出来ますか。	33%	55%		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの成長の喜びや育児の大変さを共有しながら、一緒に子どもの育ちに寄り添っていきたいと考えています。 ・どんなご意見も保育園が良くなるためのきっかけにしていきたいと考えておりますので、いつでもお聞かせください。
Q2	その日の子供の健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	33%	55%		
Q3	たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し、意見や要求を聞こうとする姿勢がもてますか。	33%	55%		
Q4	散歩や行事などで、子供たちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	77%	22%		
Q5	保育園が発信元になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか。		100%		

●5：保育園の職務・役割分担

Q1	登園を嫌がるが続くなど、問題を感じた時、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策の仕方を相談していますか。	33%	44%	11%	<p>・円滑にかつ、安全に安心して過ごせる保育を提供するためには職員間の連携がとても重要です。それぞれの局員が責任をもち、互いに手を組んで園全体が向上していけるよう努めてまいります。</p>
Q2	あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。	22%	77%		
Q3	あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。	22%	66%	11%	
Q4	栄養士など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわる時、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育士としてのあなたの役割が何であるか理解していますか。		44%	22%	
Q5	あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって毎日点検・管理していますか。		77%	22%	

●6：保育士としての資質向上

Q1	あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。		100%		<p>・毎日の保育実践を実践して終りにするのではなく、振り返りを通して専門性を向上させていけるようにします。</p> <p>・知識や技術を習得するために、研修を活用していきたいと思えます。</p>
Q2	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。		88%	11%	
Q3	あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけて、そこから学ぶことが出来ますか。	11%	44%	44%	
Q4	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べる事が出来ますか。		77%	22%	
Q5	あなたは研修で得た内容・成果を園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか。		66%	33%	